

開会行事



司会者 定刻がきましたので、ただ今より「人権を語り合う中学生交流集会'09」の開会行事を始めたいと思います。開会行事を担当します、応神中学校2年のwと上板中学校3年のxです。よろしくお願いします。それでは、まず開式のことばを大麻中学校3年kさん、お願いします。



宣言者 ただ今より、「人権を語り合う中学生交流集会'09」を、「笑顔が輝く世界へ」のメインスローガンのもと、開催いたします。

司会者 続きまして、本大会実行委員会委員長の大麻中学校3年、nが開会の挨拶をいたします。



実行委員長 皆さん、おはようございます。本大会実行委員長の大麻中3年nです。少し頼りない僕ですが、皆さんの力を借りて、一生懸命頑張りたいと思います。今日は徳島県の中学校の仲間だけでなく、鳥取県や香川県からもたくさんの仲間が来てくれたので、とてもうれしいです。ありがとうございます。今日はついに、「人権を語り合う中学生交流集会'09」「笑顔が輝く世界へ」の本番になりました。緊張しますが、今日一日張り切って、一回でも多く自分の思いが語れるように頑張っていきましょう。僕も中学1年生の時から、この中学生集會に参加していますが、今年で最後になります。だから、いろんな人権問題を自分のこととしてとらえ、みんなで一緒にできることを考えていきましょう。その中で、中学生にもできることがある。中学生だからできることがある。そして、そのできることを、みんなで、仲間で話し合い、支え合いながら、この会を成功させて、最後はこのスローガンのように、笑顔で終わりたい。これで、あいさつを終わります。

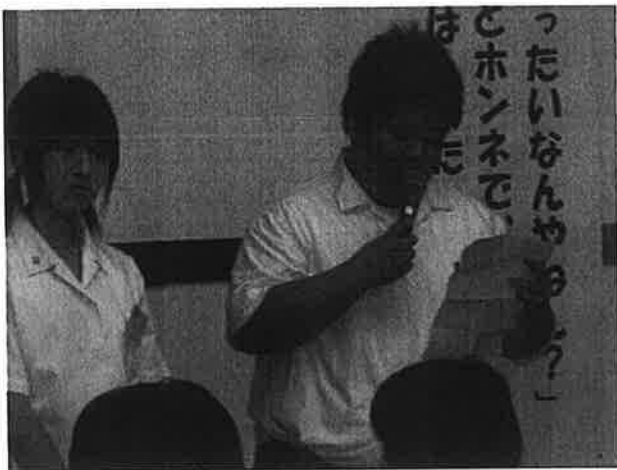


司会者 続きまして、本日ここに集まった皆さんの、それぞれの団体の紹介をしていただきたいと思います。それでは、各団体の紹介をお願いしたいと思います。お手元の資料の順に行いたいと思いますので、最初に板野中学校、お願いします。



板野中学校 板野中学校は、各学年4クラスの中学校です。この大会は、僕たちの先輩が差別に負けない、差別を許さないために始めた大会だと聞いています。僕たちのまわりにもたくさんの仲間がいること、学校を超えて同じ考えを持っていることを感じて、学校に帰りたいたいと思っています。よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございました。続いて、応神中学校、お願いします。



応神中学校 私たちの学校、応神中学校は、徳島市の中心部を流れる吉野川の北岸にあり、東に徳島市川内町、北に板野郡北島町や藍住町があります。全校生徒は、117人で、他の学校と比べると、人数が少ないと思いますが、人権のこととなると、みんな真剣に考えています。来月9月5日土曜日にある文化祭では、去年に続き全学年で人権劇を行います。去年は3学年で部落問題や原爆、徳島大空襲をテーマにした劇を行いました。今年は、在日コリアンや第二次世界大戦におけるシベリア抑留、また本当の友情についての劇をやる

予定です。文化祭では、生徒数を上回るぐらいの町民が来るので、みんなの劇でたくさんの人たちに、いろんな人権のことについてわかってもらえたらと思っています。また、応神町で行っていた学習会は、中学生友の会に変わり、現在は毎週火・木の2回のペースで行っています。日頃は、午後7時30分から9時までの1時間半、勉強をしています。初めの1時間は学校の宿題などをやりますが、残りの30分は人権についての学習を行っています。去年は、狭山事件について書かれたマンガを読破しました。今年は、今日来ていただいている川口さんの書かれた本を読んで勉強しているところです。友の会に来ていると、たまに遊んだりするけど、真剣にもやっていたりといろいろですが、今のところは、みんな満足しながら活動しています。今日はたくさんの仲間をつくり、話を聞きながら、自分たちのこともしゃべっていきたく思いますので、よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございました。続いて、大麻中学校、お願いします。



大麻中学校 大麻中学校は、徳島県北部に位置し、生徒数男子138名、女子138名、計276名です。校訓は「誠実」をモットーにして、頑張っています。古くからスポーツが盛んな学校で、弘山晴美さんや市橋有里さんなどのオリンピック選手も卒業生です。今でも放課後、体育館や運動場から生徒の元気な声が聞こえてきます。人権教育にも一生懸命

に取り組み、教育目標の一つに、「生命と人権を尊重し、差別を許さない人間」となっています。私たちは、人権の学習をするために、「育友会」に参加しています。2004年度から、週2回の学習会のうち、1回は中学生友の会に参加していました。2005年4月1日より、中学生も育友会中学生友の会として位置づけられました。学習会はなくなったけれど、その継続とし、代わりになるものが欲しいという思いからスタートしました。今年度の育友会は、毎月2・3週の月曜日、6時30分から8時まで行っています。参加状況は、中学生8名ほど、高校生2名ほど、中高の先生・大学生・職員合わせて6名ほど、計16名前後となっています。中には、地区外からの参加者もいます。活動内容として、地域行事への参加、人権文化祭作品づくり、交流会、県外学習などです。昨年度の活動は、狭山事件についてです。難しいテーマで、たくさんの先生、大人の力を借りていますが、一生懸命勉強をしています。中でも、狭山事件の現地調査で、石川さんの連れ合いである早智子さんがフィールドワークをしてくださり分かったことは、自分たちの新たな第一歩になりました。現地に行きフィールドワークをして、より身近なものと感じられ、とても勉強になりました。これからも、みんなで力を合わせて頑張ります。最後に、たくさんの人たちと交流したいので、ぜひ声をかけてください。よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。続いて、上板中学校、お願いします。



上板中学校 私たちの上板中学校は、南に吉野川、北には阿讃山脈があり、地図でいうと、上板町の中央に中学校があります。上板町には、名産の柿や藍染め、和三盆糖が有名で、豊かな田園風景が広がるのどかな町です。私たち3年生4名は、学校では人権委員会の中心メンバーとして活躍しています。中学生集会には、今年初めて参加し、人権というテーマを通じて、みんなのいろんな意見を聞くことができるので、とても楽しみです。私たちは、この夏は、受験勉強だったり高校の体験入学に行ったりで忙しく、夏休みはとても充実しています。9月12日の文化祭では、人権委員会で人権劇をするので、夏休みから前日まで練習をしっかりとやっていこうと思います。今回の中学生集会で学んだことを生かし、学校のみならずにも広げていきたいと思っています。今日はよろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。続いて、北島中学校、お願いします。



北島中学校 北島中学校は、皆さんが集まられている、ここ鳴門市と徳島市の間にある北島町にある中学校です。学校の近くには創生ホールという建物があります。そこで、私たち2年生は、1学年全員が集まり、森口先生を中心として人権学習をしています。人権学習では、DVDを観たり、語り合いの学習をしたりしています。語り合いの学習では、生徒が挙手し自分の体験したことなどを発表したり、その発表を次の人につなげていく活動をしています。この学習は、入学した当初から始まり、これまでに、「アッと笑いとドッと

笑い」, いじめや部落差別など, たくさんのことを勉強してきました。今日の交流集会では, 人権について更に学習して, これからの活動に生かしていきたいです。よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。続いて, 吉野中学校, お願いします。



吉野中学校 僕たちの吉野中学校は, 各学年2クラスの194人の比較的大きくない規模の学校です。しかし, 僕たちは人権学習にとっても熱心に取り組んでいます。特に総合の時間などでは, 昔あった事件などから, 今に生かしていけることを学ぶことを頑張っています。僕たちの学校の自慢は, 徳島県では一番大きい体育館と, 人権学習に対する熱心さと, それから生徒です。僕たちの学校からは, 先生と僕たちを含めて5人で参加しています。今日の会で学ぶことがあればいいなと思います。よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。続いて, 大山中学校, お願いします。



大山中学校 鳥取県の大山町にある大山中から来ました。私たちの学校は, 有名な大山の近くにあります。また, 日本海にも近いです。私たちの学習会は, 1年生が10名, 2年生が7名, 3年生が8名です。学習会では, 教科学習と解放学習を頑張っています。教科学習では, 苦手なことを少しずつ克服しようと集中して頑張っています。解放学習では, 部落差別など人権について意見や考えを伝えていけるように頑張っています。文化祭では, 学習会のメンバーで人権劇を発表します。昨年は, 結婚差別をテーマに発表しました。今年も夏休みから少しずつ準備をしています。今日はよろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。続いて, 中山中学校, お願いします。



中山中学校 鳥取県の中山中学校です。私たちは, 毎週水曜日の6時から7時30分まで中山ふれあいセンターで学習会をしています。現在, 学習会に参加している人数は4人です。なかなか参加してもらえないのが, 今の現状です。これからどんどん仲間を増やし, にぎやかな中山中の学習会になるように頑張ります。鳥取は, 鬼太郎が有名です。鬼太郎クッキーが売っている所もあります。今日はその鬼太郎クッキーを持ってきました。後から配るので, 皆さん, 休憩の時に食べてください。去年は, あまり発表ができませんでした。今年は自分の意見をきちんと発表できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。続いて、名和中学校、お願いします。

名和中学校 鳥取県の名和中学校です。名和中は、大山や日本海が近く、自然が豊かな所です。全校生徒は196人と少なく、トラブルもありますが、協力し合う仲の良い学校です。部活も盛んで、一人ひとりのパワーはすごいです。生徒も先生もとても元気です。学習会は、毎週木曜日の6時から7時30分まで人権交流センターでやっています。主に人権学習や教科学習をしています。その他にも、解放文化祭に参加したり、一人芝居を観たり、ハンセン病、外国人差別、けがれ意識、部落差別について、ビデオや資料、人の話を聞いて意見を交換しています。今日はよろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。続いて、土庄中学校、お願いします。



土庄中学校 私たちの土庄中は、香川県小豆島の西半分にあり、全校生徒約400名の学校です。日頃から学習会を行っていますが、学力向上の取り組みがほとんどで、部落問題など、まだまだわかりきれていないことがほとんどです。今日はいっぱい勉強して帰りたいと思います。今日は、少し時間をいただいて、Yさんの作文を聞いていただきたいと思いません。

勇気の第一歩

土庄中学校3年 Y

私は差別をうけた事はありません。なのになぜ、差別を考えるかと言うと、私のお母さんが部落で生まれ育ち、さまざまな辛い思いを経験したことを聞いたからです。

お母さんが、自分の住んでいる地域が部落だと意識したのは、中学の頃、初めて友人の家に遊びに行った時のことだそうです。

「おじゃまします。」と友人の家に上がった時、友人のお父さんは心よく「どうぞ。」と言ってくれました。いろいろと楽しく話をしているうちに「あなたはどちらの子供さん？」と聞かれたので答えると「そう。」と笑顔で答えてくれたのですが、その場を立ち上がると奥へ行き、友人のお母さんに「あの子、大丈夫？」と言っているのが聞こえてきたそうです。

家に帰り、両親にその出来事を話すと、自分の立場と部落差別について聞かされ、すごくショックをうけたそうです。

それからは、2度とそんな思いをしたくなくて、自然と自分に合う友人を探して遊ぶようになり、部落差別をする人たちに反発するかのようになってだんだんと不良ぶっていったそうです。そうして、何かあるたびに「あの子は部落だから。」と言われてきたそうです。

私から今のお母さんを見ると、私や家族のために一生懸命がんばっている、普通の優しいお母さんです。

お母さんは言っていました。

「部落を作っているのは、差別するみんなの心だよ。部落を嫌がる人が部落を作っているんだ。」と。

部落だからあの子と遊ばないとか、部落の人はこわいとか、そういうことを言っている人と部落の人との間には、必ず深い溝ができていて、あまり親しくないように思います。だから、人と人との輪がすごく小さな物にも見えます。そ

んなことを言わない人の輪はとても大きな輪ができています。

「部落の人は悪い」と言うけれど、部落でない人だってまちがいや悪さはすることがあります。人の一部分だけ見て悪い悪いと決めつけたり、一部の人だけ見て部落の人はみんな悪いと決めつけたり、そんな偏った物の見方、考え方で人を不幸にすることは決して許されることではないのです。

また、部落差別をしている人は、部落だけでなくいろいろな面で人を差別をして、結局自分の友だちの輪を小さくしていつているように思います。それは、差別されている人を不幸にするだけでなく、自分自身を不幸にしていることになるのではないのでしょうか。

私は、この作文にお母さんが部落出身と書くのはとても抵抗がありました。正直な気持ち、みんなに知られたくないと最初は思いました。なぜ嫌なのか答えが見つかりません。

ただ、部落だからです。

ただそれだけのことで、私は大好きなお母さんを差別してしまうところでした。

「差別はいけない」とえらそうに思っていたけれど、そう言っている自分の心の中にも差別の心があることに今回初めて気がつきました。その私がお母さんに対して、今どうすればいいのかを考えたとき、勇気をだしてお母さんのことを書こうと決心しました。これが今の私にできる差別をなくす第一歩です。

部落は何が違うのか。

私は今でも部落がなんなのかわかりません。だって、胸をはって堂々と生きるお母さんは、私にとって世界一のお母さんだからです。

司会者 ありがとうございます。続いて、内海中学校、お願いします。



内海中学校 私たちは、香川県の小豆島町から来ました内海中学校です。私たちの学校は、とても仲の良い学校です。それに、毎年冬に人権集会をしています。その中で部落差別について人権劇などを行っています。その後、全体学習を通して、今まで辛い思いをしたこと、今苦しい思いなどを全校生徒に自分の意見を伝えています。一生懸命聞いてくれる人がいるので、みんなもほとんどの人が発表しています。今日は一日、よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。これで参加団体すべての紹介が終わりました。それでは、閉式のことばを、大麻中学校3年、kさん、お願いします。

宣言者 これをもちまして、「人権を語り合う中学生交流集会'09」の開会行事を終了します。



司会者 それではこれより、講演会に移りたいと思いますが、その前に日程などの連絡について、大麻中学校3年のdさんより申しあげますので、今しばらくお静かにお願いします。

連絡者 大麻中学校3年のdです。よろしくお願いします。受付の時に配られた資料をご覧ください。この後、ここで12時までの約90分間、川口泰司さんによる講演会と、全体会午前の部を行います。その後、1時間の昼食・休憩をとり、午後は1時から全体会午後の部を行います。途中休憩をとって、午後4時から閉会行事に移り、終了予定時刻は午後4時10分を目安に進めていきたいと思えます。なお、ゴミについては各自で責任をもち、また館内の美化については特に気をつけて行動してください。皆さんのご協力をお願いします。

司会者 それでは、講演会・全体会の準備ができるまでの間、しばらくお待ちください。

